



札幌建青会
建設マネジメント研究委員会意見交換会資料

話題提供「担い手の確保・定着対策」

2017年3月8日

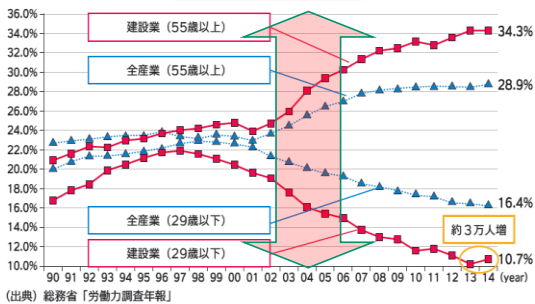
株式会社北海道建設新聞社
荒木 正芳



広がったワニの口をいかに閉じるか？



建設業就業者の高齢化の進行





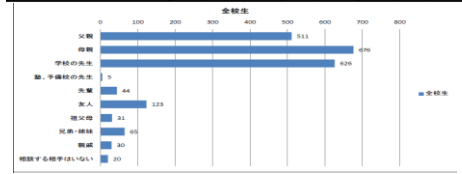
若者の勤労意識変化

1. バブル崩壊後に生まれた世代
2. 一流企業も倒産する時代
3. リストラで職を失う時代
4. 今の生活を維持できればいい。
5. 頑張れば良くなるという時代ではない。

札幌建設業協会が札幌工高の生徒を対象に実施したアンケート調査

問6 進路を決める際、誰と相談しますか。(3つまで)

	全校生	土木科	建築科	電気科	機械科	1年生	2年生	3年生
1. 父親	51	130	125	127	129	190	167	154
2. 母親	676	171	170	174	161	260	218	180
3. 学校の先生	626	162	157	154	153	236	176	214
4. 塾、予備校の先生	5	1	1	3	0	1	1	3
5. 先輩	44	12	9	11	12	20	16	8
6. 友人	123	38	31	16	38	44	47	32
7. 祖父母	31	9	8	6	8	12	6	12
8. 兄弟・姉妹	65	12	20	12	21	22	21	16
9. 親戚	30	6	9	9	6	14	9	7
10. 相談する相手はいない	20	5	3	9	3	8	5	7
合 計	2,131	546	533	521	531	814	666	651





高校生の母親との懇談会



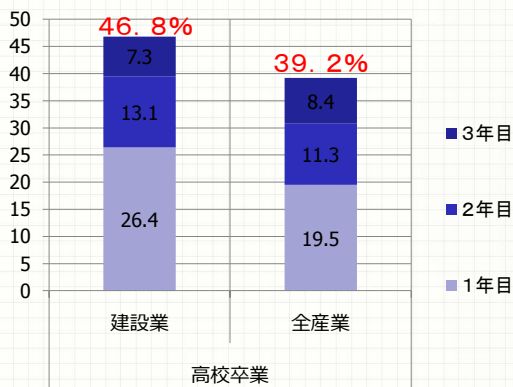
平成27年1月23日、札幌市内の北海道経済センターで開催。北海道商工会議所連合会、北海道建設業協会、建専連北海道地区連合会の3団体が主催した。



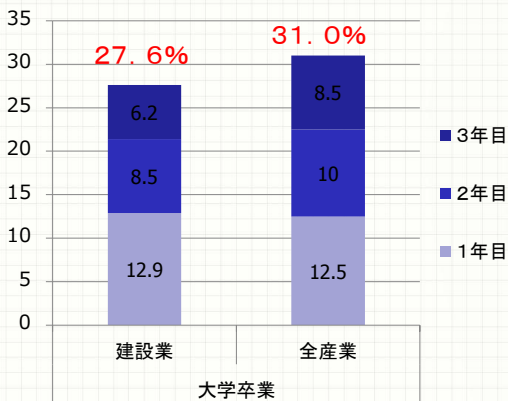
主な意見

- 建設業の仕事は体力的にきつく、冬は仕事がなく、失業保険をもらって生活しているのではないかな？
- 建設業の悪いイメージが独り歩きしている。もっと業界を理解してもらうために、PRに力を入れていくべきだ。
- 高校生の職業体験では遅い。小学生から親子体験ができれば、職業選択の幅が広がる。

全国の建設業就業者離職率（平成22年卒業者）



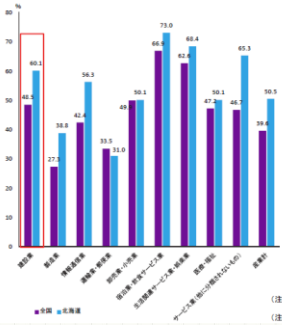
全国の建設業就業者離職率（平成22年卒業者）



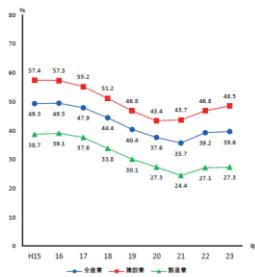
新規高校卒業就職者の離職状況

新規高校卒業就職者のうち、建設業に就職した者の3年後の離職状況は、平成23年3月の卒業生の場合、全国で48.5%、北海道では60.1%となっている。

【平成23年3月新規卒業者の産業別離職率(全国と北海道)】



【全産業・建設業・製造業の離職率の推移(全国)】



(注1) 『職業安定業務統計』及び『新規卒業者の離職状況』(厚生労働省)により、北海道別新規卒業生離職率について作成。
 (注2) 離職率の推移は各年3月の卒業生のデータである

～宗谷建設青年会のアンケート調査から～

建設業ってどんなイメージ？

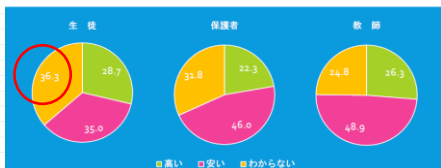
高校生とその保護者の皆様、及び先生方へのアンケート

第31回北海道建青会全道会員大会の資料

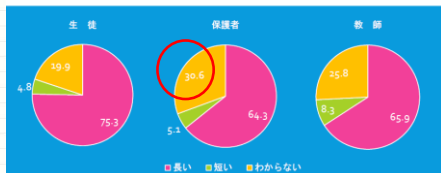
アンケートの概要

実施時期 平成28年3月
 対象 平成28年3月時点の高校1、2年生とその保護者及び在職中の教師
 対象高校 宗谷管内の全高等学校(私立高含む7校)
 回答者数 生徒717名
 保護者509名
 教師133名 の計1359名

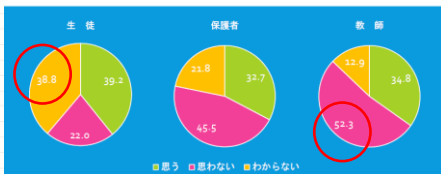
建設業の賃金・給与のイメージは？



建設業の勤務時間のイメージは？



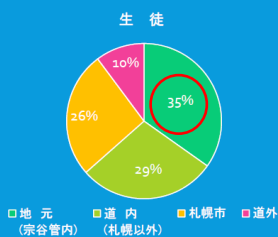
建設業は安定した職業だと思うか？



建設業が果たす安全・安心確保の役割について？



あなた(生徒)が希望する就職地は？



若者の地元愛 人間関係が鍵



道内高校生意識調査本に

札幌大谷大の榎井洋子教授の「道内高校生への意識調査から、若者と地域のつながりを感じた著書『若者の地元愛』(西田出版)を出版した。周囲との豊かな人間関係が、若者の地元愛や生活意識を高めていることを明らかにした。

ソーシャルキャピタルは人の結びつきや信頼関係を表す概念で「社会関係資本」とも訳される。榎井教授は道内の社会科学分野の研究テーマは札幌市、富良野市、稚内市、網走市、釧路管内標茶町などの11高校の生徒1754人への聞き取りを行い、結果を載せた『居住地で感じ入っている点(複数回答)』は、友人が近くにいること

札幌大谷大・榎井教授ら

が65%と最も多く、次いで「家族・親戚がいること」の58%だった。「学校・コミュニティなどの生活上の充実」が31%、「交通の便」は13%で、生活環境より人間関係を重視する傾向がみられる。地元の愛着が強いほど、地域に「引き継ぎたい」と答える割合も高かった。

一方、余剰労働サイト(SL)が「インターネットだけで親しくしている人がいるかどうかの質問では、全体の33%が「いい」と答えた。学校別では網走市で割合が高い。標茶で4割強の生徒が「いい」と答える一方で、地方の高校は割合が高かった。これに対し、札幌手帳は「いい」が8割を占めた。

榎井教授は「若者が先行が早えたい時代的ななか、元々の社会関係資本を充実させておいてほしい」と分科会世代が答えている。若者にとって魅力ある地域を築くよう提言している。さらに判例集「若者100人」(総別)は道内の主な書籍に採られている。(関係真意) 書籍を手に入れた地元の将来を担う若い世代への関わり方を、大谷大が本誌で特集してほしいと榎井教授

出前講座、座談会後の結果

高校生とその保護者の皆様、及び先生方へのアンケート

出前講座、座談会の概要

出前講座 (生徒)		
5月25日	稚内大谷高校	3年生全員
6月8日	北海道豊富高等学校	3年生(就職希望者のみ)
6月17日	北海道稚内高等学校商業科	1年生及び3年生
座談会 (保護者、教師)		
5月13日	稚内大谷高校	3年生の保護者及び教師
6月27日	北海道稚内高等学校	3年生の保護者及び教師

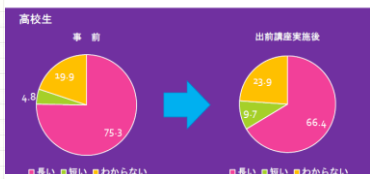
建設業の賃金・給与のイメージは？



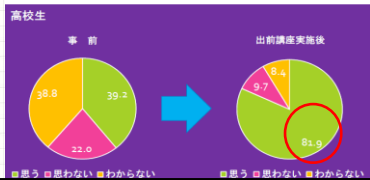
建設業の賃金・給与のイメージは？



建設業の勤務時間のイメージは？



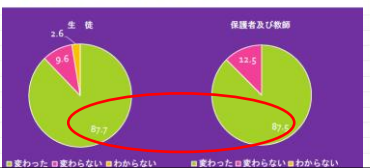
建設業は安定した職業だと思うか？



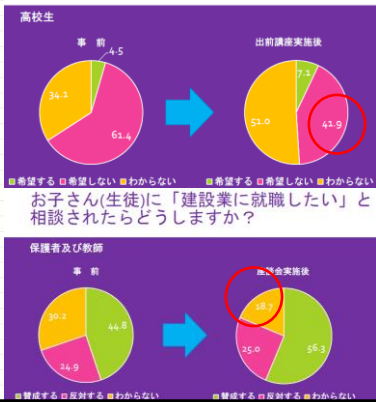
建設業は安定した職業だと思うか？



出前講座や座談会を経て建設業のイメージは良い方向へ変わりましたか？



あなたは建設業へ就職を希望しますか？



アンケート結果から読み取れるものは？

- 生徒・保護者・教師とも建設業の実態がよく分かっていない。
- 技術者、技能者、作業員の区別がつかない。
- 興味を持ってもらうよりも、まずは「分からない」を減らす努力が必要ではないか。
- 出前講座や座談会の効用。建設業に対する印象やイメージなどが劇的に変化する。
- 今の子供たちは「地元志向」が強い。働き口さえあれば、親の近くいたい。

人材確保・定着の課題

1. 3年以内の離職をどう食い止めるか。
2. 新3K（給料、休暇、勤務時間）対策
3. 普通高校の新規学卒者の技術者教育。
4. 女性技術者の進出促進と活用。
5. 育てる側の意識改革をどう進めていくか。



「仕事の進め方改革」の提言

1. エリアやチームで、若手技術者・技能者を育てる仕組みづくり。
2. ワークライフバランス（仕事と家庭の両立）の実現
3. 発注者・受注者が一体となった現場の週休2日制導入（日給月給から給料制への移行）



まとめ

- 人材確保・定着の特効薬はない。
- 女性、高齢者、外国人の積極活用は、無駄とはいわないが、根本的な解決策にはならない。
- 経営者が、若者の一生を背負う気概を持つ。
- 机に座って仕事をするよりも、身体を動かすことのほうが性に合っている、という若者は少なくない。その人たちに、いかに「やりがい」や「魅力」を伝えるか。
- 「親の近くで暮らしたい」という若者の心をつかめ。建設業は「子宝産業」でもある！
- 業界の若手に思い切って任せる。若者たちは、年齢の近い人間の言葉に、心を動かす。
